

表 生物多様性総合評価で用いたデータ例一覧

章節項款	危機、生態系	指標 No.	指標名	データ例 No.	データ名
II.1.3.(1)	第1の危機	指標1	生態系規模の開発・改変	1-①	土地利用の推移
II.1.3.(1)	第1の危機	指標1	生態系規模の開発・改変	1-②	陸域における生態系の規模等
II.1.3.(1)	第1の危機	指標1	生態系規模の開発・改変	1-③	陸水域・沿岸域における生態系の規模等
II.1.3.(1)	第1の危機	指標1	生態系規模の開発・改変	1-④	改変の少ない植生の分布
II.1.3.(1)	第1の危機	指標1	生態系規模の開発・改変	1-⑤	20世紀初頭から1980年代までの土地利用の変化
II.1.3.(1)	第1の危機	指標1	生態系規模の開発・改変	1-⑤	20世紀初頭から1980年代までの土地利用の変化
II.1.3.(1)	第1の危機	指標1	生態系規模の開発・改変	1-⑥	1980年代から1990年代までの土地利用の変化
II.1.3.(1)	第1の危機	指標1	生態系規模の開発・改変	1-⑦	農地から宅地・工場用地などへの転用面積(人為かい廃面積)の推移
II.1.3.(1)	第1の危機	指標1	生態系規模の開発・改変	1-⑧	林地からの都市的土地利用への転換面積の推移(目的別用途)
II.1.3.(1)	第1の危機	指標2	野生鳥獣の科学的な保護管理	2-①	狩猟者数の推移
II.1.3.(1)	第1の危機	指標3	水域の富栄養化	3-①	湖沼・海域における全窒素濃度および全リン濃度の推移
II.1.3.(1)	第1の危機	指標3	水域の富栄養化	3-②	大気経由の窒素の影響
II.1.3.(1)、II.2.3.(1)、III.3.3.(1)	第1・2・3の危機	指標4	種の絶滅の要因	4-①	分類群ごとの絶滅種・野生絶滅種・絶滅危惧種の割合
II.1.3.(1)、II.2.3.(1)、III.3.3.(1)	第1・2・3の危機	指標4	種の絶滅の要因	4-②	生物分類群ごとの減少要因
II.1.3.(1)、II.2.3.(1)、III.3.3.(1)	第1・2・3の危機	指標4	種の絶滅の要因	4-③	絶滅種、野生絶滅種の年代と種名
II.1.3.(1)、II.2.3.(1)、III.3.3.(1)	第1・2・3の危機	指標4	種の絶滅の要因	4-④	維管束植物の絶滅頻度
II.1.3.(1)、II.2.3.(1)、III.3.3.(1)	第1・2・3の危機	指標4	種の絶滅の要因	4-⑤	絶滅種、野生絶滅種の絶滅要因
II.1.3.(1)、II.2.3.(1)、III.3.3.(1)	第1・2・3の危機	指標4	種の絶滅の要因	4-⑥	RDB掲載種(維管束植物)の都道府県別種数
II.1.3.(1)、II.2.3.(1)、III.3.3.(1)	第1・2・3の危機	指標4	種の絶滅の要因	4-⑦	日本の干潟環境に悪影響を及ぼしている主な要因とそれぞれの干潟環境における相対的重要性
II.1.4.(2)	第1の危機	指標5	保護地域	5-①	主な保護地域の面積の推移
II.1.4.(3)	第1の危機	指標5	保護地域	5-②	各生態系の保護地域カバー率
II.1.4.(4)	第1の危機	指標5	保護地域	5-③	各生態系の保護地域カバー率
II.1.4.(5)	第1の危機	指標6	捕獲・採取規制、保護増殖事業	6-①	「種指定天然記念物」と「国内希少野生動植物種」の指定数の推移
II.1.4.(6)	第1の危機	指標6	捕獲・採取規制、保護増殖事業	6-②	都道府県版RL、RDBと希少種条例を作成・制定した都道府県数
II.2.3.(1)	第2の危機	指標7	里地里山の利用	7-①	薪炭の生産量
II.2.3.(1)	第2の危機	指標7	里地里山の利用	7-②	牛の使役目的の変化
II.2.3.(1)	第2の危機	指標7	里地里山の利用	7-③	耕作放棄地面積の推移
II.2.3.(1)	第2の危機	指標7	里地里山の利用	7-④	里地里山メッシュ割合の推移
II.2.4.(2)	第2の危機	指標8	野生鳥獣の科学的な保護管理	8-①	特定鳥獣保護管理計画の策定数
II.3.3.(1)	第3の危機	指標9	外来種の侵入と定着	9-①	外来昆虫・外来種子植物の種数
II.3.3.(1)	第3の危機	指標9	外来種の侵入と定着	9-②	海外から輸入される生きている動物の輸入量
II.3.3.(1)	第3の危機	指標9	外来種の侵入と定着	9-③	海外から輸入される生きている動物の近年の輸入数
II.3.3.(1)	第3の危機	指標9	外来種の侵入と定着	9-④	侵略的な外来生物の分布の拡大等
II.3.3.(1)	第3の危機	指標9	外来種の侵入と定着	9-④	侵略的な外来生物の分布の拡大等
II.3.3.(1)	第3の危機	指標10	化学物質による生物への影響	10-①	主要汚染物質の検出割合経年推移(魚類)
II.3.4.(2)	第3の危機	指標11	外来種の輸入規制、防除	11-①	特定外来生物等の種類数
II.3.4.(2)	第3の危機	指標11	外来種の輸入規制、防除	11-②	都道府県の防除の確認件数
II.4.3.(1)	地球温暖化の危機	指標12	地球温暖化による生物への影響	12-①	オホーツク海の水氷の減少及び、海洋生態系への影響
II.4.3.(1)	地球温暖化の危機	指標12	地球温暖化による生物への影響	12-②	サンゴの白化
II.4.3.(1)	地球温暖化の危機	指標12	地球温暖化による生物への影響	12-③	アボイ岳の高山植物の減少
II.4.3.(1)	地球温暖化の危機	指標12	地球温暖化による生物への影響	12-④	ナガサキアゲハの分布北上
II.4.3.(1)	地球温暖化の危機	指標12	地球温暖化による生物への影響	12-⑤	四国、近畿におけるタイワンウチヤンマの分布北限の拡大
II.4.3.(1)	地球温暖化の危機	指標12	地球温暖化による生物への影響	12-⑥	九州、四国、近畿、東海地方におけるミナミアオカメムシ
II.4.3.(1)	地球温暖化の危機	指標12	地球温暖化による生物への影響	12-⑦	福岡県筑前沿岸の魚類相の変化
II.4.3.(1)	地球温暖化の危機	指標12	地球温暖化による生物への影響	12-⑧	越冬期におけるコハクチョウの全国の個体数の変化
II.4.3.(1)	地球温暖化の危機	指標12	地球温暖化による生物への影響	12-⑨	ソメイヨシノの開花日の早期化
II.4.3.(1)	地球温暖化の危機	指標12	地球温暖化による生物への影響	12-⑩	コムクドリ産卵時期の変化
II.5.1.(1)	対策の基盤	指標13	生物多様性の認知度	13-①	生物多様性の認知度
II.5.1.(1)	対策の基盤	指標14	海外への技術移転、資金供与	14-①	日本の環境分野におけるODA金額の推移と生物多様性関係の割合
II.5.1.(1)	対策の基盤	指標14	海外への技術移転、資金供与	14-②	生物多様性の保全に関連する基金等への拠出額

表 生物多様性総合評価で用いたデータ例一覧

章節項款	危機・生態系	指標 No.	指標名	データ例 No.	データ名
Ⅲ.1.2.(1)	森林生態系	指標15	森林生態系の規模・質	15-①	森林面積(天然林・人工林)の推移
Ⅲ.1.2.(1)	森林生態系	指標15	森林生態系の規模・質	15-②	人工造林面積の推移
Ⅲ.1.2.(1)	森林生態系	指標15	森林生態系の規模・質	15-③	森林蓄積量(天然林・人工林)の推移
Ⅲ.1.2.(1)	森林生態系	指標15	森林生態系の規模・質	15-④	ニホンジカの分布
Ⅲ.1.2.(1)	森林生態系	指標15	森林生態系の規模・質	15-⑤	マツクイムシ被害量(被害材積)
Ⅲ.1.2.(1)	森林生態系	指標16	森林生態系の連続性	16-①	森林の分断状況
Ⅲ.1.2.(1)	森林生態系	指標17	森林生態系に生息・生育する種の個体数・分布	17-①	ヒゲマ・ツキノワグマの分布
Ⅲ.1.2.(1)	森林生態系	指標17	森林生態系に生息・生育する種の個体数・分布	17-②	「生きている地球指数」(LPI : Living Planet Index)
Ⅲ.1.2.(1)	森林生態系	指標18	森林の利用と管理	18-①	針葉樹・広葉樹別国内素材生産量と用材自給率
Ⅲ.1.2.(1)	森林生態系	指標18	森林の利用と管理	18-②	世界と日本の森林面積の変化
Ⅲ.1.2.(1)	森林生態系	指標18	森林の利用と管理	18-③	林家および林家以外の事業者の保有山林作業実施状況
Ⅲ.2.2.(1)	農地生態系	指標19	農地生態系の規模・質	19-①	耕地面積の推移
Ⅲ.2.2.(1)	農地生態系	指標19	農地生態系の規模・質	19-②	水田整備面積及び水田整備率の推移
Ⅲ.2.2.(1)	農地生態系	指標19	農地生態系の規模・質	19-③	農業生産量・化学肥料生産量の推移
Ⅲ.2.2.(1)	農地生態系	指標19	農地生態系の規模・質	19-④	草地面積の推移
Ⅲ.2.2.(1)	農地生態系	指標19	農地生態系の規模・質	19-⑤	日本全国のため池数の変化
Ⅲ.2.2.(1)	農地生態系	指標20	農地生態系に生息・生育する種の個体数・分布	20-①	秋期の渡りに関する内陸性のシギ、チドリの個体数の傾
Ⅲ.2.2.(1)	農地生態系	指標21	農作物の多様性	21-①	アワ、ヒエ、ソバ(雑穀類)の作付面積の推移
Ⅲ.2.2.(1)	農地生態系	指標22	都市緑地の規模	22-①	東京特別区の土地利用の推移
Ⅲ.2.2.(1)	農地生態系	指標22	都市緑地の規模	22-②	東京特別区の緑被率の推移
Ⅲ.3.2.(1)	都市生態系	指標22	都市緑地の規模	22-③	都市公園等の面積の推移
Ⅲ.3.2.(1)	都市生態系	指標23	都市生態系に生息・生育する種の個体数・分布	23-①	東京都におけるヒバリの分布の変化
Ⅲ.3.2.(1)	都市生態系	指標23	都市生態系に生息・生育する種の個体数・分布	23-②	東京都におけるメジロの分布の変化
Ⅲ.3.2.(1)	都市生態系	指標23	都市生態系に生息・生育する種の個体数・分布	23-③	東京都におけるハシトガラスの分布の変化
Ⅲ.4.2.(1)	陸水生態系	指標24	陸水生態系の規模・質	24-①	明治大正時代から現在の湿原面積の変化
Ⅲ.4.2.(1)	陸水生態系	指標24	陸水生態系の規模・質	24-②	釧路湿原の湿原面積の変化
Ⅲ.4.2.(1)	陸水生態系	指標24	陸水生態系の規模・質	24-③	主要湖沼における干拓・埋立面積
Ⅲ.4.2.(1)	陸水生態系	指標24	陸水生態系の規模・質	24-④	河床の低下及び河道外への土砂の搬出
Ⅲ.4.2.(1)	陸水生態系	指標25	河川・湖沼の連続性	25-①	1900年以降のダムの竣工数及び、累積総貯水量の推移
Ⅲ.4.2.(1)	陸水生態系	指標25	河川・湖沼の連続性	25-②	一級河川及び主要二級河川における魚類の遡上可能範囲(全国地図)
Ⅲ.4.2.(1)	陸水生態系	指標25	河川・湖沼の連続性	25-③	河川水際線の状況の推移
Ⅲ.4.2.(1)	陸水生態系	指標25	河川・湖沼の連続性	25-④	主な湖沼の湖岸の改変状況
Ⅲ.4.2.(1)	陸水生態系	指標25	河川・湖沼の連続性	25-⑤	琵琶湖のヨシ群落の面積の変化
Ⅲ.4.2.(1)	陸水生態系	指標26	陸水生態系に生息・生育する種の個体数・分布	26-①	全国の湖沼におけるシャジクモの確認種数
Ⅲ.4.2.(1)	陸水生態系	指標26	陸水生態系に生息・生育する種の個体数・分布	26-②	一級河川における外来種の確認種数
Ⅲ.5.2.(1)	沿岸・海洋生態系	指標27	沿岸生態系の規模・質	27-①	浅海域の埋め立て面積
Ⅲ.5.2.(1)	沿岸・海洋生態系	指標27	沿岸生態系の規模・質	27-②	海砂利採取量の推移
Ⅲ.5.2.(1)	沿岸・海洋生態系	指標27	沿岸生態系の規模・質	27-③	堤防・護岸等の延長およびその割合
Ⅲ.5.2.(1)	沿岸・海洋生態系	指標27	沿岸生態系の規模・質	27-④	自然・半自然・人工海岸の延長の推移
Ⅲ.5.2.(1)	沿岸・海洋生態系	指標27	沿岸生態系の規模・質	27-⑤	干潟面積の推移
Ⅲ.5.2.(1)	沿岸・海洋生態系	指標27	沿岸生態系の規模・質	27-⑥	東京湾及び瀬戸内海の干潟面積の推移
Ⅲ.5.2.(1)	沿岸・海洋生態系	指標27	沿岸生態系の規模・質	27-⑦	藻場面積の推移
Ⅲ.5.2.(1)	沿岸・海洋生態系	指標27	沿岸生態系の規模・質	27-⑧	サンゴ群集面積の推移
Ⅲ.5.2.(1)	沿岸・海洋生態系	指標27	沿岸生態系の規模・質	27-⑨	石西礁湖におけるサンゴ被度の変化の事例
Ⅲ.5.2.(1)	沿岸・海洋生態系	指標27	沿岸生態系の規模・質	27-⑩	東経137度線に沿った冬季の表面海水中の水素イオン濃度(pH)の長期変化
Ⅲ.5.2.(1)	沿岸・海洋生態系	指標27	沿岸生態系の規模・質	27-⑪	砂浜の浸食速度の変化
Ⅲ.5.2.(1)	沿岸・海洋生態系	指標27	沿岸生態系の規模・質	27-⑫	東京湾、伊勢湾、瀬戸内海における赤潮・青潮の発生件
Ⅲ.5.2.(1)	沿岸・海洋生態系	指標27	沿岸生態系の規模・質	27-⑬	閉鎖海域における環境基準(BOD又はCOD)の達成度
Ⅲ.5.2.(1)	沿岸・海洋生態系	指標28	浅海域を利用する種の個体数・分布	28-①	秋季の渡り時に日本を通過するシギ、チドリの個体数の
Ⅲ.5.2.(1)	沿岸・海洋生態系	指標28	浅海域を利用する種の個体数・分布	28-②	砂浜海岸に生息する種の漁業資源の変動
Ⅲ.5.2.(1)	沿岸・海洋生態系	指標29	有用魚種の資源変動	29-①	海域における資源評価
Ⅲ.5.2.(1)	沿岸・海洋生態系	指標29	有用魚種の資源変動	29-②	漁獲量と海洋食物連鎖指数(MTI)
Ⅲ.5.2.(1)	沿岸・海洋生態系	指標29	有用魚種の資源変動	29-③	漁獲量の長期トレンド
Ⅲ.6.2.(1)	島嶼生態系	指標30	島嶼の固有種の個体数・分布	30-①	南西諸島における固有種の絶滅危惧種割合
Ⅲ.6.2.(1)	島嶼生態系	指標30	島嶼の固有種の個体数・分布	30-②	小笠原諸島における固有種の絶滅危惧種割合
Ⅲ.6.2.(1)	島嶼生態系	指標30	島嶼の固有種の個体数・分布	30-③	南西諸島における絶滅危惧種の減少要因